

宇治久世認知症懇話会2018

日本ではじめての認知症総合センターがこの3月、宇治に生まれます。認知症の初期から最終段階までを継ぎ目なく支えるのがその機能です。しかし不明な部分もあるとの向きもあります。例えばかかりつけ医との連携は十分とれるのか、認知症疾患医療センターとどう違うのか、他の介護事業所との協働はとれるのかなどがその主なところ。また常設型認知症カフェの全体像がまだ不透明だとの意見もあります。とはいえ徐々にセンターの姿が明確なものになってくると思います。

京都認知症総合センターに期待する一方で、この地域全体の認知症ケアの底上げが大きな課題です。その意味で本認知症懇話会での継続したディスカッションが課題を解く道筋をみつけるものと期待しています。

参加は、かかりつけ医、病院勤務医だけではなく認知症地域ケアにご興味のある専門職であれば歓迎です。

在宅医療担当理事 門阪 庄三

日時 2018年3月3日(土) 18:00～20:00

場所 宇治市産業会館 (宇治市商工会議所) | 3階
〒611-0021 京都府宇治市宇治琵琶45-13

講演

座長 かどさか内科クリニック 門阪 庄三 先生

『 前頭葉機能と認知症 』

演者 宇治おうばく病院 大井 健史 先生

ディスカッション

司会 かどさか内科クリニック 門阪 庄三 先生

『 かかりつけ医のための 認知症の早期発見・治療のポイント 』

ディスカッサー 京都府立洛南病院 森 俊夫 先生

宇治おうばく病院 大井 健史 先生

※当日はお弁当を準備致しております

※ご記載頂いた施設名、ご芳名は医薬品および医学・薬学に関する
情報提供のためにご利用させて頂くことがございます。

共催：宇治久世医師会/武田薬品工業株式会社